

くち お口の

健康情報室

「右下の奥歯が痛いので診てほしい」

歯科医院ではこのような訴えをよく耳にします。しかし、詳しく調べてみると、実際の原因は右上の奥歯など別の場所だったということがあります。患者さん自身は痛む場所をはっきり感じているつもりでも、本当の原因が別にあることは決して珍しくありません。

このような現象を歯科では「関連痛」と呼びます。歯やあご、顔の感覚は複雑な神経によって脳へ伝えられていきます。そのため、脳が痛みの発

痛みの原因 自己判断禁物

生源を正確に判断できず、別の場所の痛みとして感じてしまつことがあるのです。上の歯の病気を下の歯の痛みと勘違いしたり、逆に下の歯の異常を上歯の痛みと感じたりすることもあります。

さらに、歯そのものに異常がなくても、歯が痛いように感じる場合があります。例えば、強い食いしばりや歯ぎしりによる筋肉の疲労、顎関節の不調、副鼻腔炎などが原因で歯の痛みを感じることがあります。肩や首の筋肉の緊張が関係しているケースもあり、「歯が痛い」虫歯とは限らないのです。

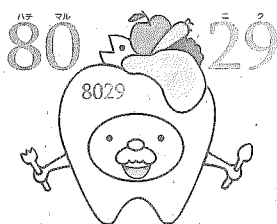
そのため、痛みを感じる歯だけを見て原因を決めつけると、本当の原因を見逃してしまつことがあります。歯科医師は問診やレントゲン検査、

口腔内の診査などを通じて、どこに原因があるのかを総合的に判断しています。

もし歯の痛みが続く場合は、「この歯が悪いに違いない」と自己判断せず、歯科医師に相談してみてください。痛み場所と原因の場所が異なることを知っておくだけでも、適切な治療への大きな一歩となるでしょう。

(県歯科医師会)

健康長寿の合言葉！！



「80029運動」PRキ
ャクター もべいこ